

—スタッフ紹介—

役 職	スタッフ名
部長	岩嶋 大介
非常勤医師	山縣 俊之
非常勤医師	白山 俊之

—概要—

りんくう総合医療センターに拠点を置き、呼吸器内科専門医が非常に少ない泉州南部地域で呼吸器内科専門医として地域住民の診療に従事する(質が高く、安全性が保障された医療の提供)だけでなく、医療水準の向上と、疾患の多様性にも対応する。この目的を達成するためには、専門医のみでは不十分である。一般医、他診療科の専門医、薬剤師、看護師など有効な医療連携(パートナーシップ)を構築し、高度先進医療の提供にも貢献しなければならない。この目標を掲げて2012年4月に寄附講座としてりんくう総合医療センターに開設された。

—実績—

外来診療

一般的な呼吸器疾患の診療の中で、慢性咳嗽、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、間質性肺炎、などの診断、長期管理の質の向上に力を注いでいる。

1) 診察

担当	月	火	水	木	金
午前	山縣		岩嶋	岩嶋	山縣
午後	山縣	岩嶋	白山	岩嶋	山縣

最新年度である2018年度(2018年4月1日～2019年3月31日)の1年間には、延べ6,228名の患者さんの診療を行った。院内紹介患者は304名、院外からの紹介患者は416名であった。

2) 禁煙外来

担当	月	火	水	木	金
午後	山縣				山縣

2013年1月から禁煙外来を引き継いで行っている。

2018年度は延べ143名の患者さんに禁煙指導を提供した。

3) 検査

慢性咳嗽の鑑別診断、気管支喘息の確定診断、COPDの確定診断と病期分類、気管支喘息とCOPDとの鑑別診断などに寄与出来るようにするため、最も簡易な肺機能検査

(スパイロメトリー)だけでなく、気管支拡張薬吸入前後でスパイロメトリーを行い一秒量の変動で気道閉塞の回復を調べる可逆性試験(COPDの診断、病期分類には必須)を日常診療の中で取り入れている。

また、気管支鏡検査を2018年8月より再開し、2018年度内で件数25件、うち肺癌の確定診断が11件を占めた。

4) 院内診療

水曜日の午後RST(Respiratory Support Team)回診に参加し、人工呼吸管理患者さんもしくは、離脱直後の重症呼吸不全患者さんの診療支援、相談などに対して、看護師、理学療法士、臨床工学士とともに、チーム医療を行っている。(白山医師担当)。

—今年度の成果と反省点—

胸腔穿刺や気管支鏡検査など呼吸器専門的な検査が再開された。

—来年度への抱負—

専門医療の提供